

# 2017年3月期 決算説明会

---

2017年5月10日（水）

山田コンサルティンググループ株式会社

# CONTENTS

- 山田コンサルティンググループ全体組織・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

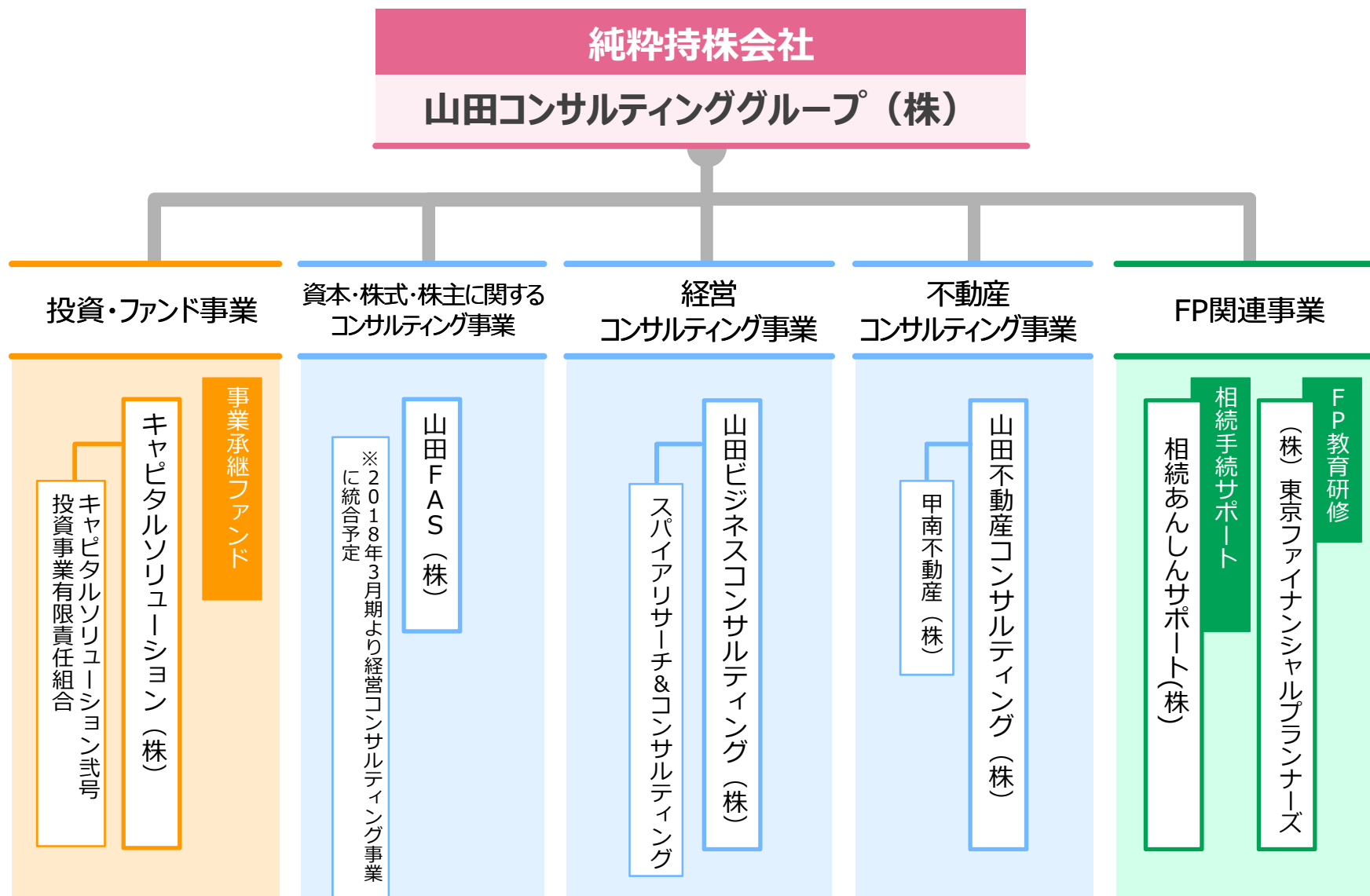
## 2017年3月期通期決算概要及び2018年3月期通期連結業績予想

- (1)連結損益計算書概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- (2)通期決算のポイント・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- (3)連結業績推移・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- (4)連結貸借対照表概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (5)2018年3月期通期連結業績予想・・・・・・・・ 8

## セグメント別2017年3月期通期決算概要及び2018年3月期通期業績予想

- (1)セグメント別損益状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- (2-1)経営コンサルティング事業の通期実績・・・・・・・・ 11
- (2-2)資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の通期実績 12
- (2-3)「経営コンサルティング事業」と  
「資本・株式・株主に関するコンサルティング事業」との統合 13
- (2-4)統合後の経営コンサルティング事業・・・・・・・・ 14
- (2-5)不動産コンサルティング事業・・・・・・・・ 15
- (2-6)FP関連事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- (2-7)投資・ファンド事業・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- (3)今後の事業成長イメージ(将来の目指すところ)・・・・・・ 21
- (4)リスク情報・・・・・・・・・・・・・・・・ 22

# 山田コンサルティンググループ全体組織



2017年3月期 通期決算概要及び  
2018年3月期 通期連結業績予想

# (1) 連結損益計算書概要

単位：百万円

	2016年3月期 連結実績	2017年3月期 連結実績	増減額	増減率	2017年3月期 連結業績予想	達成率
売上高	9,130	<b>10,794</b>	+1,664	+18.2%	10,500	<b>102.8%</b>
売上原価	979	<b>1,322</b>	+343	+35.0%	-	-
売上総利益	8,150	<b>9,472</b>	+1,322	+16.2%	-	-
販管費	6,015	<b>7,217</b>	+1,202	+19.9%	-	-
営業利益	2,134	<b>2,255</b>	+121	+5.6%	2,300	<b>98.0%</b>
経常利益	2,059	<b>2,304</b>	+245	+11.8%	2,320	<b>99.3%</b>
税引前 当期純利益	2,031	<b>2,294</b>	+263	+12.9%	-	-
親会社に帰属する 当期純利益	1,302	<b>1,514</b>	+212	+16.2%	1,500	<b>100.9%</b>

## (2) 通期決算のポイント

### 総括

経営コンサルティング事業が順調、全体で増収増益

### 経営コンサルティング事業

複数の大型コンサルティング案件を売上実現できたこと、M&A及び事業承継コンサルティングが順調だったことから、増収増益

### 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業

M&A関連業務において人員増強を行ったものの成果が出ず、大幅な減益

### 不動産コンサルティング事業

提携会計事務所からの受注件数が増加し、増収増益

### FP関連事業

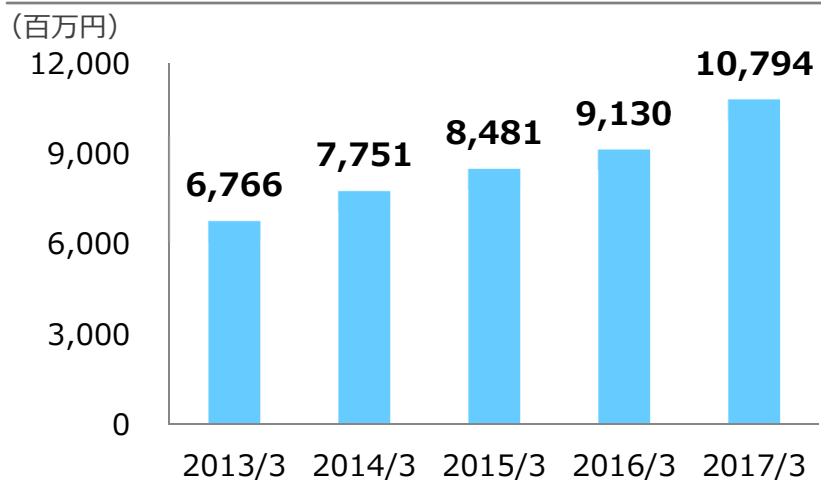
確定拠出年金（DC）関連研修の実施回数減及びFP資格取得講座の受注減等により、減収減益

### 投資・ファンド事業

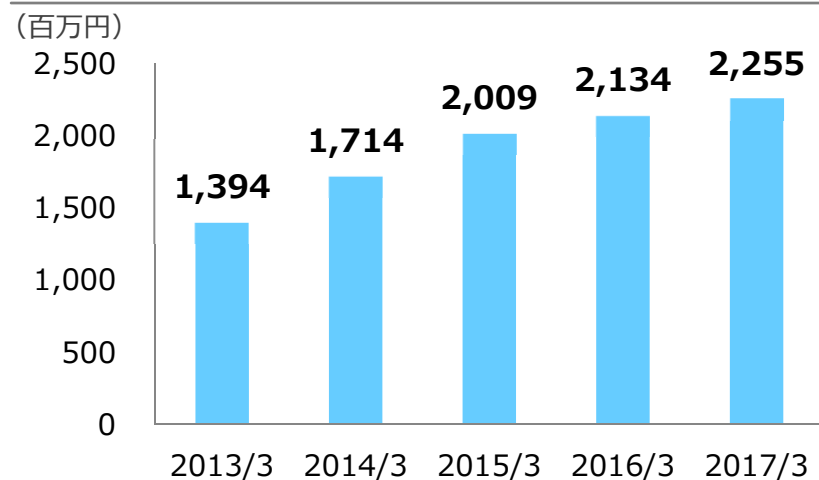
投資株式の償還益を計上できたことにより営業利益を確保

# (3) 連結業績推移

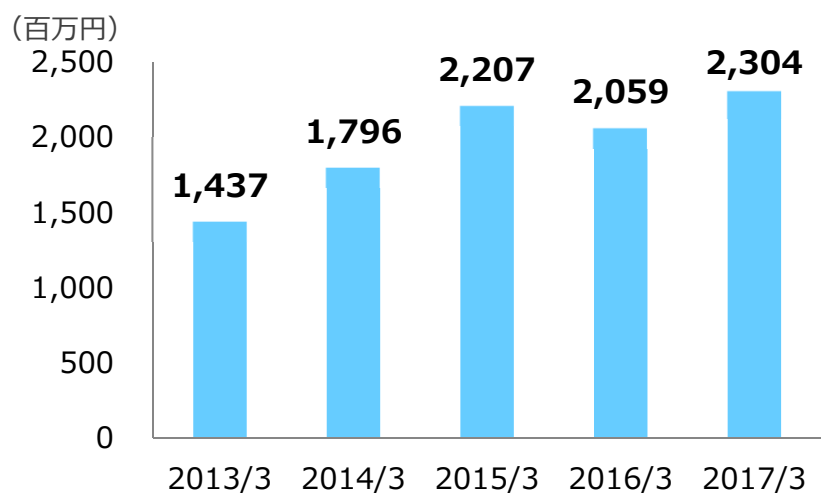
### 売上高



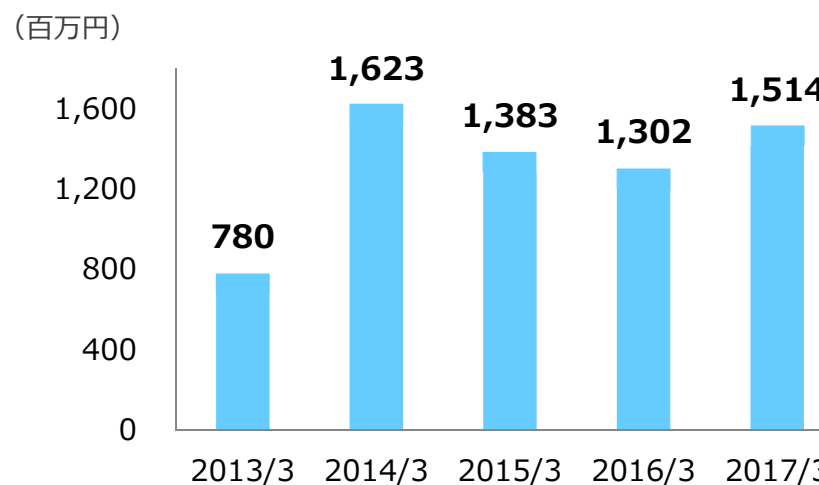
### 営業利益



### 経常利益



### 親会社株主に帰属する当期純利益



## (4) 連結貸借対照表概要

単位：百万円

(百万円)		2016年 3月期末	2017年 3月期末	増減額
資産の部	流動資産	7,664	9,323	1,659
	固定資産	2,756	2,399	△357
	有形固定資産	472	474	2
	無形固定資産	13	468	454
	投資その他資産	2,269	1,456	△813
<b>資産合計</b>		<b>10,420</b>	<b>11,723</b>	<b>1,302</b>
負債の部	流動負債	1,583	2,036	453
	固定負債	45	53	7
	<b>負債合計</b>	<b>1,628</b>	<b>2,089</b>	<b>461</b>
純資産の部	資本金	1,599	1,599	-
	資本剰余金及び利益剰余金	7,632	8,544	912
	自己株式	△463	△532	△68
	<b>株主資本合計</b>	<b>8,768</b>	<b>9,612</b>	<b>843</b>
	その他の包括利益累計額	11	△26	△37
	新株予約権	3	1	△1
	非支配株主持分	9	46	37
<b>純資産合計</b>		<b>8,791</b>	<b>9,633</b>	<b>841</b>
<b>負債純資産合計</b>		<b>10,420</b>	<b>11,723</b>	<b>1,302</b>



## (5) 2018年3月期 通期連結業績予想

単位：百万円

	2017年3月期通期 連結実績	2018年3月期通期 連結業績予想	増減率 (%)
売上高	10,794	<b>12,000</b>	111.1
営業利益	2,255	<b>2,900</b>	128.5
経常利益	2,304	<b>2,910</b>	126.2
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,514	<b>1,850</b>	122.1

	2017年3月期配当実績	2018年3月期配当予定	増減額
1株当たり配当額	<b>135円</b> (第2半期末65円、期末70円)	<b>150円</b> (第2四半期末75円、期末75円)	<b>+15円</b>

- ◆ 経営コンサルティング事業と資本・株式・株主に関するコンサルティング事業との経営統合を予定  
⇒「経営コンサルティング事業」として一本化（両事業の統合については後頁で説明）
- ◆ 経営コンサルティング事業は、M & A・事業承継・事業成長コンサルティング各々が順調に拡大すると見込んでいること、及び経営統合による効果も発揮し、順調な業績確保を見込む
- ◆ 不動産コンサルティング事業は、提携会計事務所との連携により、安定した業績確保を見込む
- ◆ F P 関連事業は、事業基盤の再構築を行い、業績確保を目指す
- ◆ 投資・ファンド事業は、現時点では投資株式の売却損益は見込まず

セグメント別  
2017年3月期 通期決算概要  
及び2018年3月期 通期業績予想

# (1) セグメント別損益状況

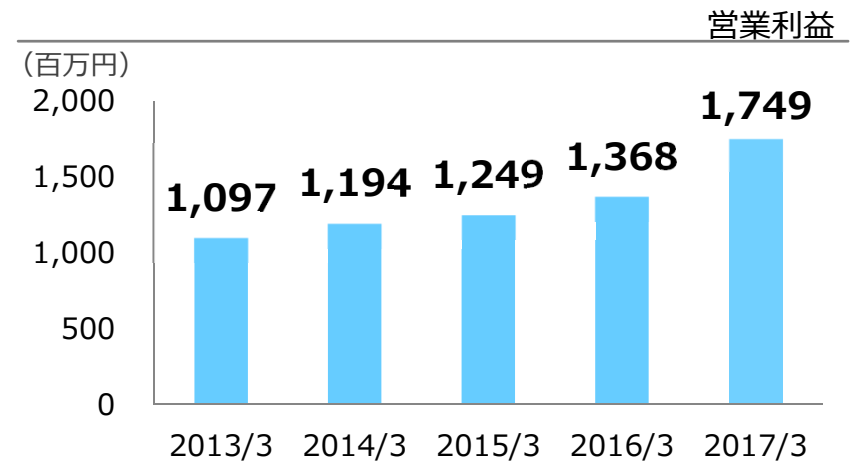
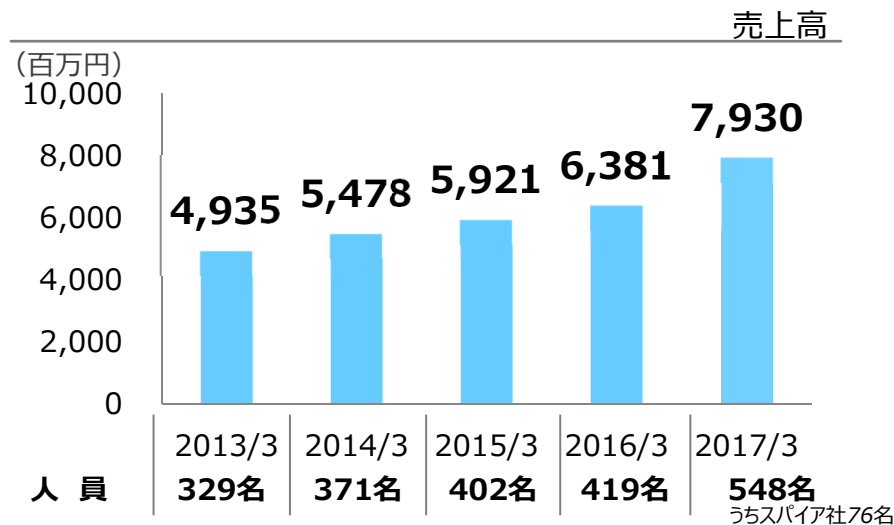
売上高 (百万円)	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率
経営コンサルティング事業	6,381	<b>7,930</b>	+1,548	+24.2%	7,200	<b>110.1%</b>
資本・株式・株主に関する コンサルティング事業	1,336	<b>1,281</b>	△55	△4.1%	1,800	<b>71.1%</b>
不動産コンサルティング事業	782	<b>806</b>	+23	+3.0%	850	<b>94.8%</b>
FP関連事業	728	<b>667</b>	△61	△8.4%	825	<b>80.8%</b>
投資・ファンド事業	45	<b>181</b>	+136	+301.8%	70	<b>258.7%</b>
セグメント間取引消去	△144	△ <b>71</b>	+73	-	△245	-
合 計	9,130	<b>10,794</b>	+1,664	+18.2%	10,500	<b>102.8%</b>

営業利益 (百万円)	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率
経営コンサルティング事業	1,368	<b>1,749</b>	+381	+27.8%	1,450	<b>120.6%</b>
資本・株式・株主に関する コンサルティング事業	392	<b>119</b>	△273	△69.6%	440	<b>27.0%</b>
不動産コンサルティング事業	238	<b>272</b>	+33	+13.9%	255	<b>106.7%</b>
FP関連事業	96	<b>37</b>	△58	△60.8%	95	<b>39.5%</b>
投資・ファンド事業	42	<b>74</b>	+31	+74.6%	60	<b>124.5%</b>
セグメント間取引消去	△4	<b>1</b>	+5	-	-	-
合 計	2,134	<b>2,255</b>	+120	+5.6%	2,300	<b>98.0%</b>

## (2-1) 経営コンサルティング事業の通期実績

単位：百万円

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率
売上高	6,381	<b>7,930</b>	+1,548	+24.2%	7,200	<b>110.1%</b>
営業利益	1,368	<b>1,749</b>	+381	+27.8%	1,450	<b>120.6%</b>



### <通期実績の状況>

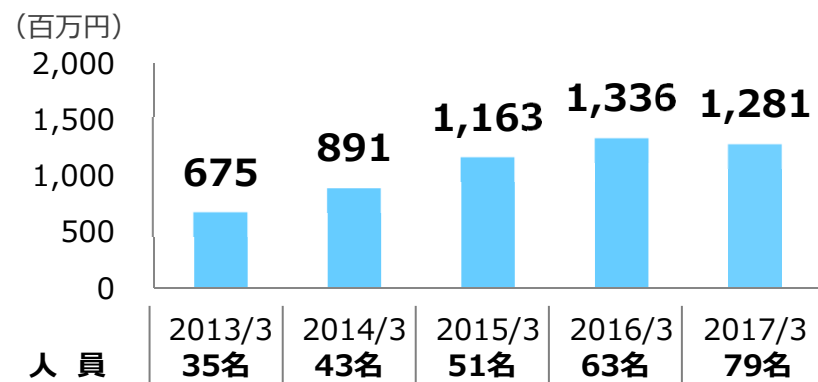
- ◆ 複数の大型コンサルティング案件を売上実現できたこと、及びM&A・事業承継コンサルティングが順調で増収増益
- ◆ M&A関連売上高は1,890百万円（46件）※前期のM&A関連売上高：1,308百万円（32件）

## (2-2) 資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の通期実績

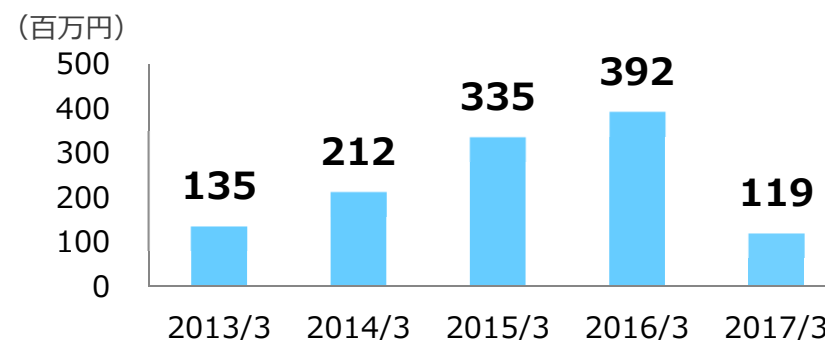
単位：百万円

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率
売上高	1,336	<b>1,281</b>	△55	△4.1%	1,800	<b>71.1%</b>
営業利益	392	<b>119</b>	△273	△69.6%	440	<b>27.0%</b>

売上高



営業利益



### <通期実績の状況>

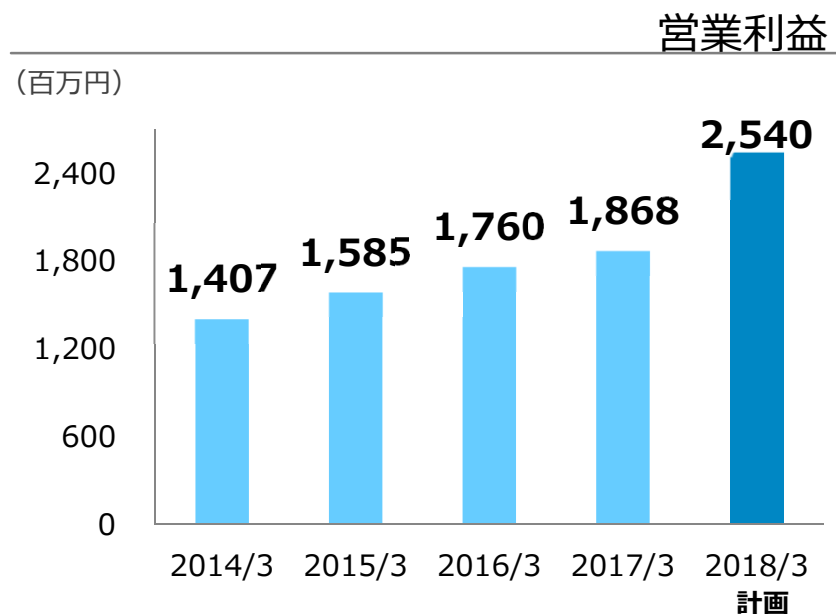
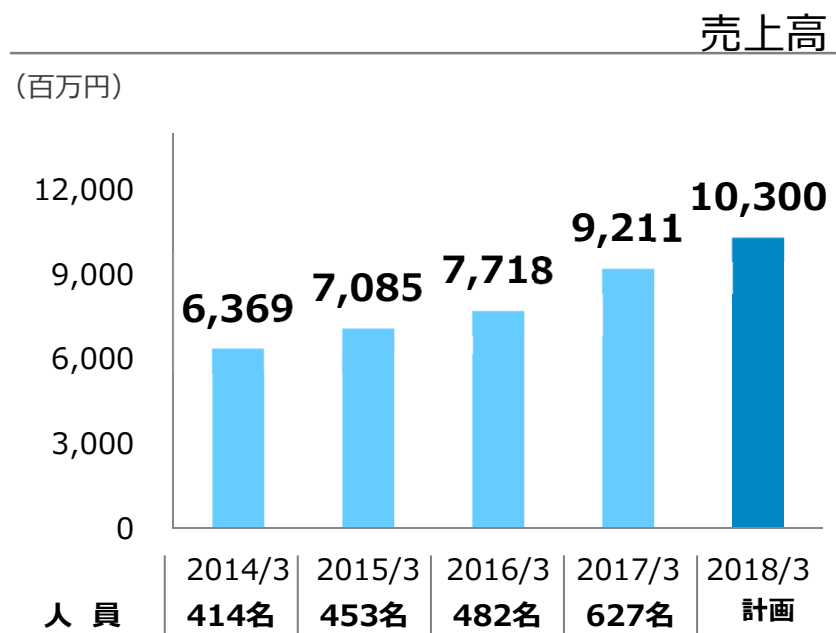
- ◆ M&A関連業務において人員増強を行ったものの成果を出すことができなかったこと、及び、年度内で実現すると見込んでいたM&A案件の売上が未実現に終わったこともあり、大幅減益、通期計画数値対比でも大幅未達
- ◆ M&A関連売上高は664百万円（18件）※前期のM&A関連売上高：648百万円(17件)

## (2-3) 「経営コンサルティング事業」と 「資本・株式・株主に関するコンサルティング事業」との統合

＜「経営コンサルティング事業」と「資本・株式・株主に関するコンサルティング事業」との統合について＞

- ◆ 各々で行っているM&A関連事業の統合を主目的として、2018年3月期より「経営コンサルティング事業」として一本化する予定
- ◆ M&A関連事業及び各種経営コンサルティング事業を一体で進めることが効率性・成長性を高めると判断

### 【両事業の合算過去実績及び統合後の2018年3月期業績予想】



## (2-4) 統合後の経営コンサルティング事業

### 2018年3月期業績予想及び重点戦略

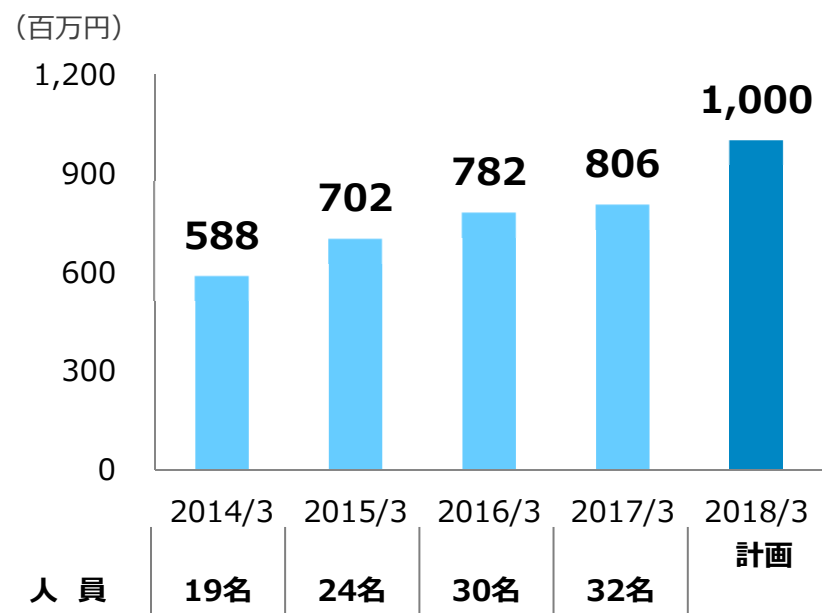
- M&A・事業承継・事業成長コンサルティングのニーズが引き続き高い状況
  - 統合による一層の経営資源（人材・情報・営業拠点等）の有効活用、業務効率の向上等の効果も見込む
  - 以上より売上高10,300百万円、営業利益2,540百万円を計画
- 
- 総合コンサルティングファームとして進化  
⇒既存商品強化・新商品開発、大企業・優良企業への提案力強化
  - M&A事業の飛躍、成長、認知  
⇒単なるマッチング機能としてのM&A業務ではなく、事業承継・事業成長・事業再生コンサルティングのひとつの解決策としての顧客企業の立場に立った戦略的M&Aコンサルティングへ
  - 海外コンサルティング事業の基盤構築・事業化  
⇒以下の子会社及び業務提携先の機能・ネットワークを最大限活かすことにより、早期での海外コンサルティング基盤の構築を図る
    - ・アジア地場の市場リサーチファームであるシンガポールのスパイア社を買収・子会社化（昨年4月）
    - ・海外コンサルティングファームとの業務提携：竹中パートナーズ（米国）、東洋ビジネスサービス（タイ）

## (2-5) 不動産コンサルティング事業

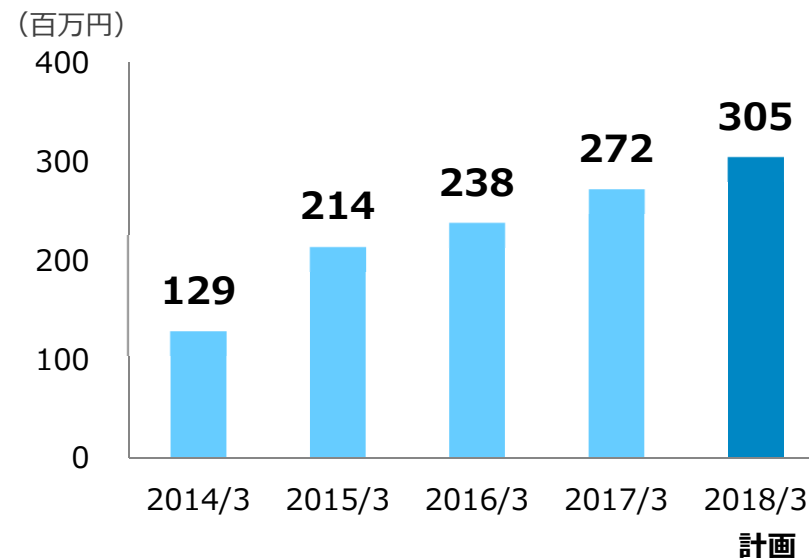
単位：百万円

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2018年3月期 業績予想 (計画)
売上高	782	<b>806</b>	+23	+3.0%	850	<b>94.8%</b>	1,000
営業利益	238	<b>272</b>	+33	+13.9%	255	<b>106.7%</b>	305

売上高



営業利益





## (2-5) 不動産コンサルティング事業

### <通期実績の状況>

- ◆ 大型案件の売上計上はなかったものの、提携会計事務所からの案件相談件数・受注件数が増加し、増収増益
- ◆ 2017年3月末の提携会計事務所数：370会計事務所

### 2018年3月期業績予想及び重点戦略

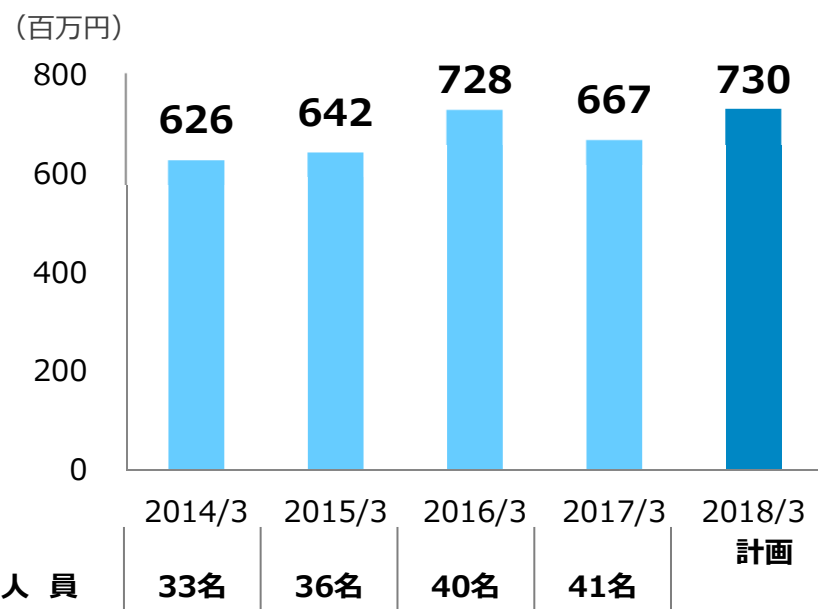
- 提携会計事務所との連携強化により案件の相談件数・受注件数の増加を図ること、及び大型案件の発掘に注力することにより、売上高1,000百万円、営業利益305百万円を目指す
- 不動産に関する総合的な提案ができる「不動産コンサルティング会社」とすべく提案型のビジネスモデルへの転換  
⇒大型案件の発掘・受注ができる体制構築（富裕層の囲い込み）
- 中長期的な事業成長のため、大学新卒者の採用を中心とした人材の採用・育成に最注力  
⇒50名体制を目指す
- 2017年4月に大阪支店開設  
⇒今後は首都圏だけでなく関西地域にも積極的に事業展開

## (2-6) FP関連事業

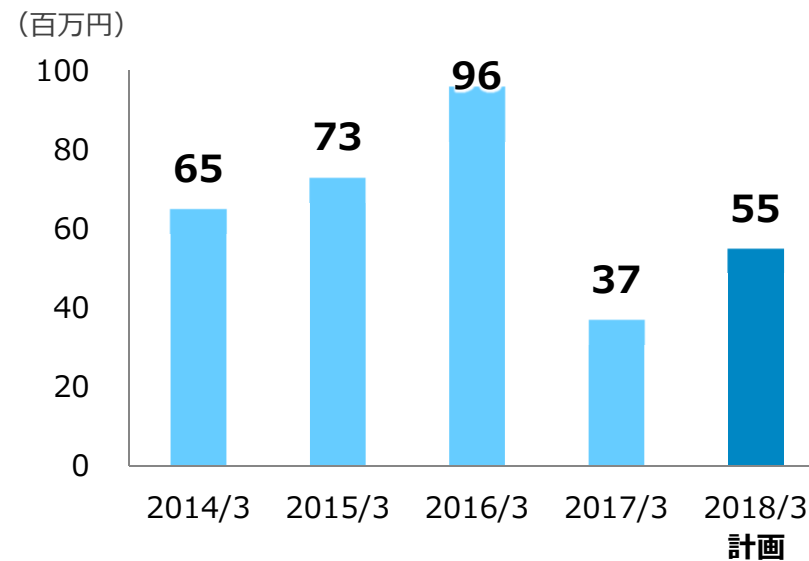
単位：百万円

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2018年3月期 業績予想 (計画)
売上高	728	<b>667</b>	△61	△8.4%	825	<b>80.8%</b>	730
営業利益	96	<b>37</b>	△58	△60.8%	95	<b>39.5%</b>	55

売上高



営業利益



## (2-6) FP関連事業

### <通期実績の状況>

- ◆ 確定拠出年金（DC）導入企業に対する研修の実施回数の減少、価格競争激化によるFP資格取得講座の受注減少、企業の残業規制の影響による休日実施の企業集合研修の中止等により減収減益、通期計画数値対比でも未達

### 2018年3月期業績予想及び重点戦略

- 休日の企業研修に代わるものとしてWEB研修ニーズがさらに高まると想定  
⇒WEB研修の内容充実・積極的な提案の実施
- 従来のFP資格取得講座・FP関連の企業実務研修に加えて、ヒューマンスキル研修・営業スキル研修等を合わせた人材育成に関する総合的な教育プログラムの提案により、売上高730百万円、営業利益55百万円を目指す
- 2017年3月期の下半期から収益構造・営業活動の抜本的な見直しに着手  
⇒「人材育成のソリューションを提案できるコンサルティング会社」とすべく事業基盤の再構築を行う
- 相続手続に関するサポート業務の更なる強化⇒2017年4月「相続あんしんサポート株式会社」を設立

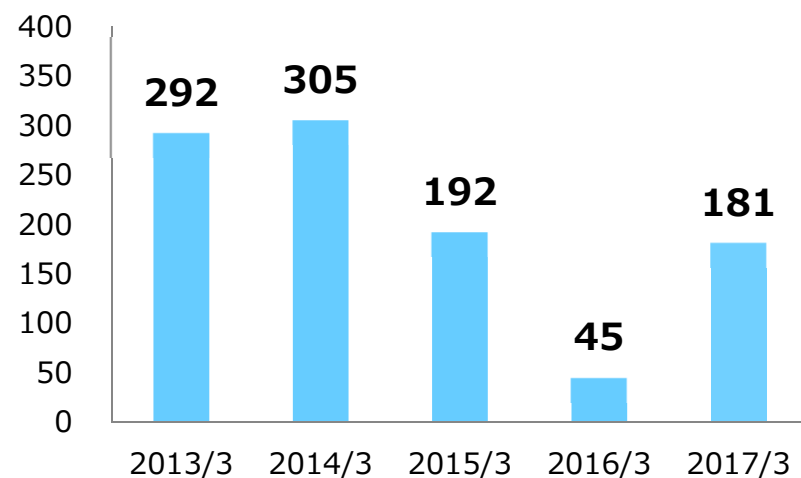
## (2-7) 投資・ファンド事業

単位：百万円

	2016年3月期 実績	2017年3月期 実績	増減額	増減率	2017年3月期 業績予想 (計画)	達成率	2018年3月期 業績予想 (計画)
売上高	45	<b>181</b>	+136	+301.8%	70	<b>258.7%</b>	—
営業利益	42	<b>74</b>	+31	+74.6%	60	<b>124.5%</b>	—

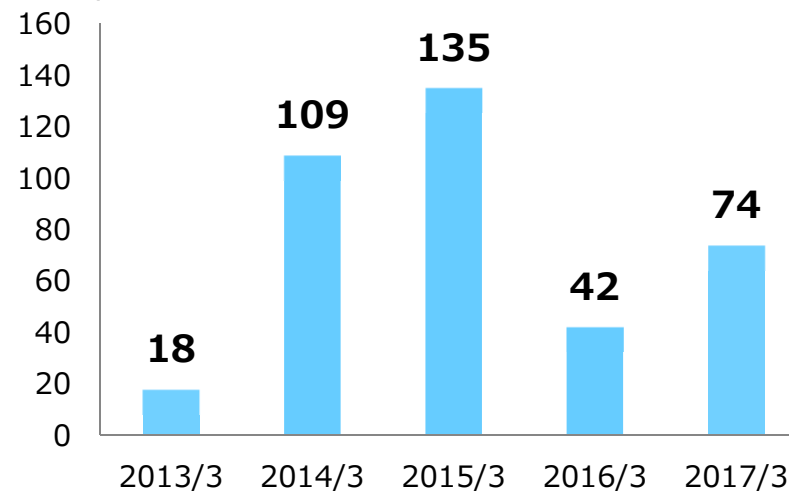
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



## (2-7) 投資・ファンド事業

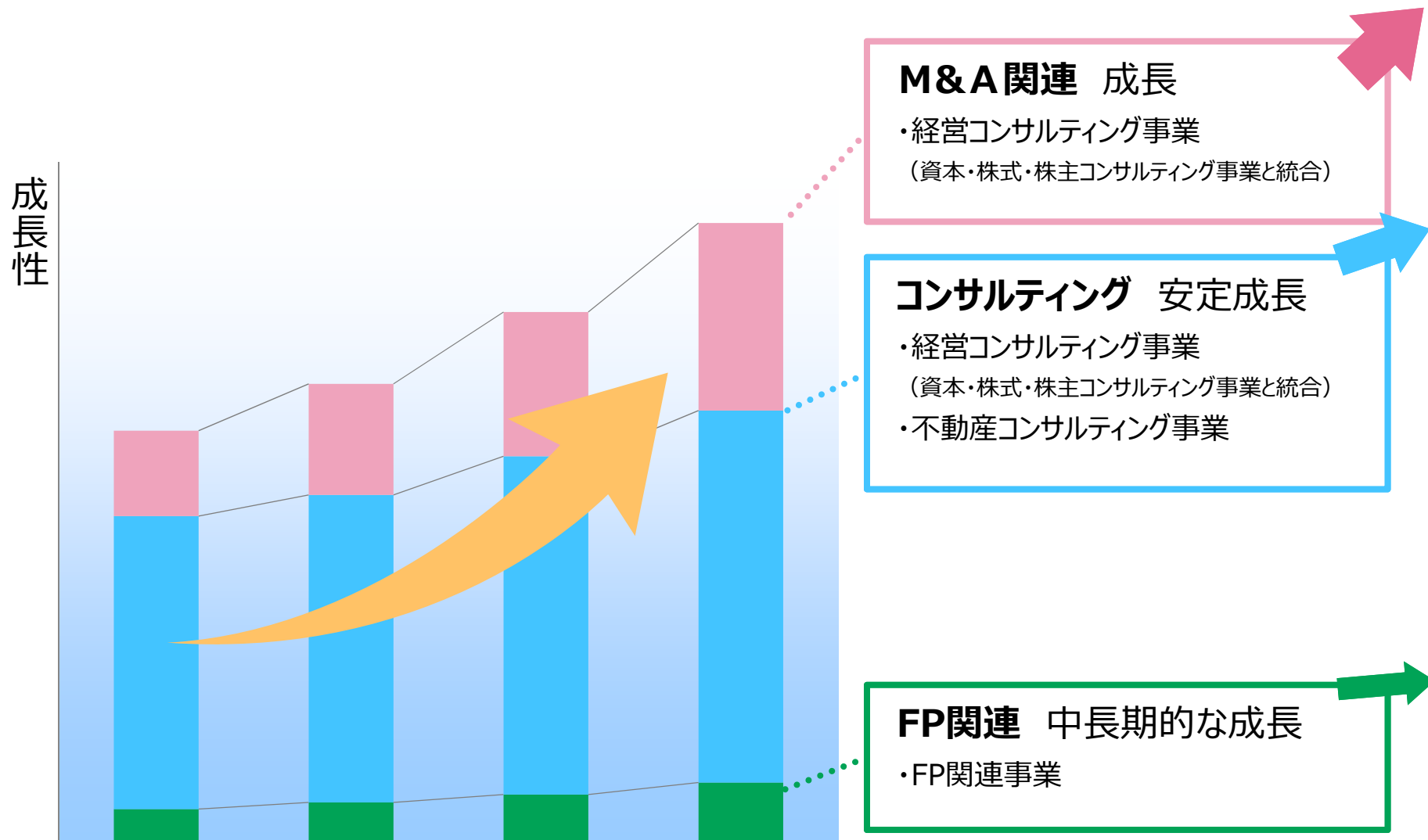
### <通期実績の状況>

- ◆ 投資株式の償還益を計上できたことにより、営業利益を確保
- ◆ 新規投資実行額243百万円（1件）、既存投資先に対する追加投資実行額30百万円（1件）

### 2018年3月期業績予想及び重点戦略

- 現在、事業承継ファンドのキャピタルソリューション式号ファンド（総額10億円）のみ運営  
2017年3月末投資残高254百万円
- 同式号ファンドは、現時点において投資株式の売却予定なし
- 今後も引き続き慎重に投資検討

### (3) 今後の事業成長イメージ (将来の目指すところ)



## (4) リスク情報

### 経営コンサルティング事業（資本・株式・株主コンサルティング事業と統合）

- 人材の確保及び育成
- 情報管理⇒機密情報が漏洩した時のリスク

### 不動産コンサルティング事業

- 人材の確保及び育成
- 不動産市況の動向

### FP関連事業

- FP関連事業の商品構成・・・FP資格取得講座販売・FP関連研修の売上の依存度が高い
- 主要顧客である金融機関の業績動向

### 投資・ファンド事業

- 投資先企業の業績状況、株式評価、売却タイミングによる業績変動リスク



本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知置き下さい。